

主役は俺だー2023年秋③

■牧野幹大（まきの・かんだ） 釧路公立大 RB 4年

171センチ、84キロの筋肉のかたまりがスクリメージラインに飛び込み、ぐいぐいとボールを運ぶ。昨季1部リーグ挑戦2年目で3位に躍進した釧路公立大のラン攻撃の鍵を握るRBだ。守備ではLBに入り、Pもこなす。今季は、部員32人を引っ張る主将も務めるチームの大黒柱でもある。「今年は優勝を狙えるチーム。2強の壁は高いが、勝てる確率はゼロではない。やれることを出し切ったら達成できる」とチームを鼓舞する声にも力がこもる。

札幌藻岩高ではバスケットボール部。大学でも続けるつもりだったが、新型コロナウイルスのためにバスケット部が活動を休止。そんな中でも「やれることをやっていた」というアメフト部に注目。部の雰囲気にもひかれて入部した。先輩の薦めもあり、「目立つプレーがしたかった」とRBに。「RBは自分の走りでチームの士気を高められる。ゴールに絡めるのも魅力」と言う。1年生から試合に出場し、2年生の帯広畜産大戦で初TDも決めた。「リバースプレーで27ヤードのラン。パイロンめがけて厚別の芝を走った。気持ち良かった」と今も忘れられないプレーだ。ダイブが多いFBだが、「1年生の時から体重を14キロ増やした。当たり前負けしないのが持ち味」と胸を張る。

リーグ戦の台風の目になる予感もする釧路公立大。「いいレシーバーもいるが、パスだけでは攻撃が単調になる。ランが出るとパスも生きる。次につながるランプレーでファーストダウンを狙う。チームプレーに徹してTDをしっかりと取りたい」とゲームプランを描く。今季から指導を受ける立命館大OBの梶田圭輔氏に加え、2年目の横浜国立大OBの伊藤祐介氏にも感謝する。OL出身の伊藤氏のコーチで「チーム力が着実にアップした。選手層にも厚みが出た」と自信をみせた。

チームプレーに徹してTDをしっかりと取りたい」とゲームプランを描く。今季から指導を受ける立命館大OBの梶田圭輔氏に加え、2年目の横浜国立大OBの伊藤祐介氏にも感謝する。OL出身の伊藤氏のコーチで「チーム力が着実にアップした。選手層にも厚みが出た」と自信をみせた。

〈プロフィール〉

2000年5月11日、岩手県盛岡市生まれ。2歳で札幌に。経済学部経営学科。1年生の2020年シーズンに、パインボウルを初制覇した北海学園大のRB阿部龍太郎にあやかり背番号は「5」。「タックルされてからの伸びが衝撃的だった」と目標にする。

